

生物環境アドバイザー制度を 活用した公共事業の一事例 について



滋賀県 流域政策局 河川・港湾室

はじめに

1. 滋賀県生物環境アドバイザー制度の概要
2. 大谷川での取組みについて
3. 事業完了後の取組みについて

1. 滋賀県生物環境アドバイザー制度の概要

○特徴

事業の環境影響予測・評価を行う環境アセスメントとは異なり、アドバイザーと担当職員が相互理解と協力のもと連携して、現場で実行性のある保安対策を実施すること

○アドバイザーとは

- ・ 生物環境に精通していて、公平な立場にある有識者
- ・ 具体的には、小中高校の教員、大学教授、県の研究機関の研究員等



1. 滋賀県生物環境アドバイザー制度の概要

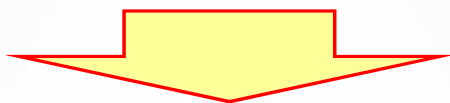
○選定基準

- ①補助、単独事業を問わない、新規着手事業又は継続事業とする。
- ②生物環境に配慮が求められる区域で行われる事業および自然公園区域、鳥獣保護区域等で行われる事業を対象とする。
- ③既存施設の修繕、応急復旧等を除く事業箇所
- ④制度適用は、原則概略設計又は実施設計段階からとする。
- ⑤制度適用を受け工事を実施した事業は、完成後原則2年を経過した時点で効果の確認を行う。（全体事業区間を工区分割して実施している事業では、工区の部分竣工も含む）

1. 滋賀県生物環境アドバイザー制度の概要

○期待される効果

本制度は、戦略的環境アセスメントのように、事業自体の可否も含めた判断をするものではなく、公共工事の設計段階、施工段階において、生物環境に与える影響をできる限り小さくし、また保全する上で、必要な調査や配慮事項について、アドバイザーから助言・指導をいただくもの。

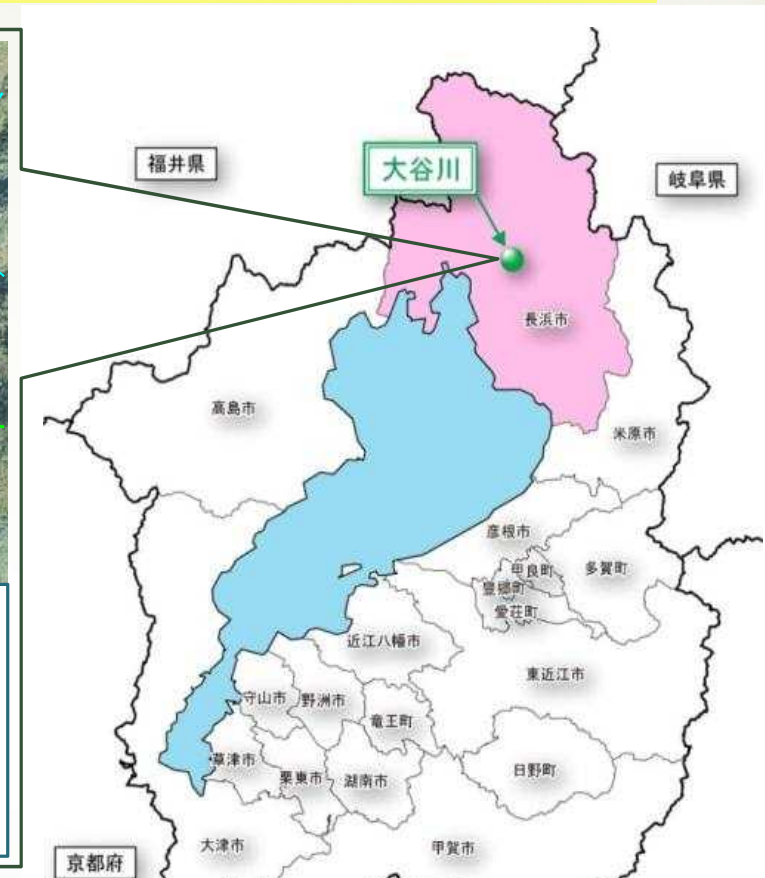
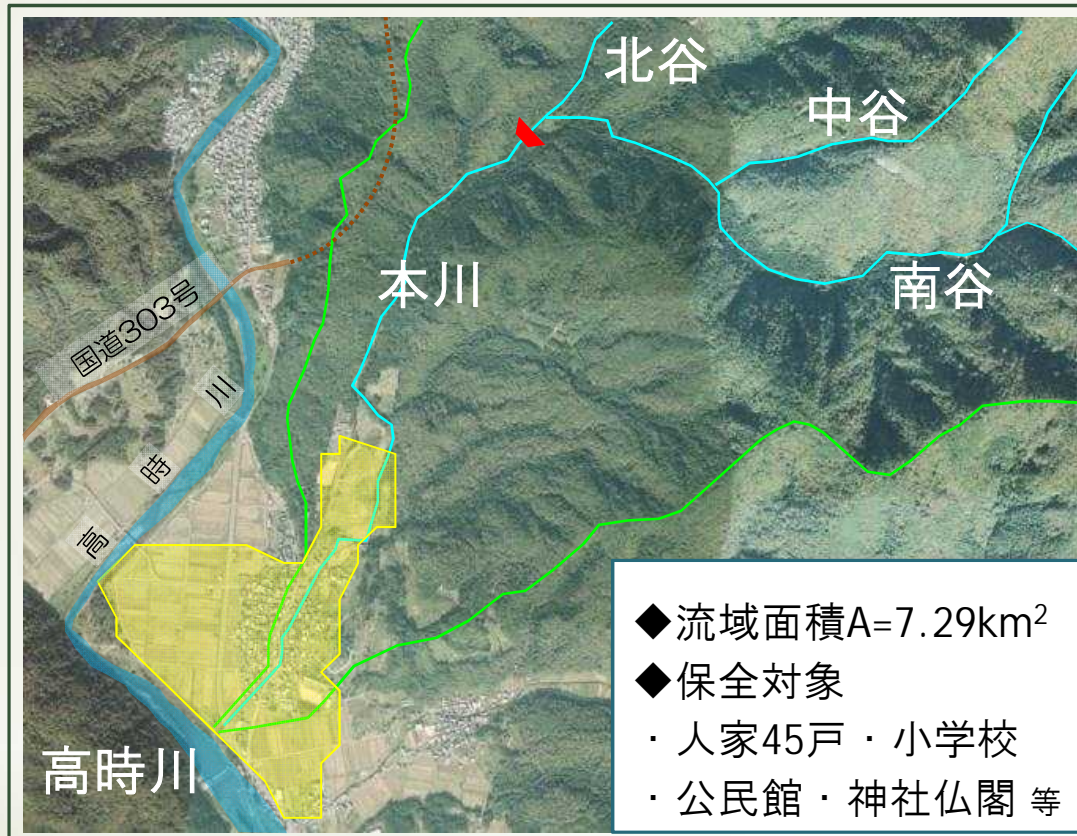


公共事業における生物環境への配慮を促進

県の技術者の生物に関する知識の向上

公共事業の円滑な執行

2. 大谷川での取組みについて



平成8年度：事業着手（北谷、中谷、南谷に各1基の透過型堰堤）

平成12年度：北谷川で透過型堰堤完成

平成14年度：オオサンショウウオの生息を確認

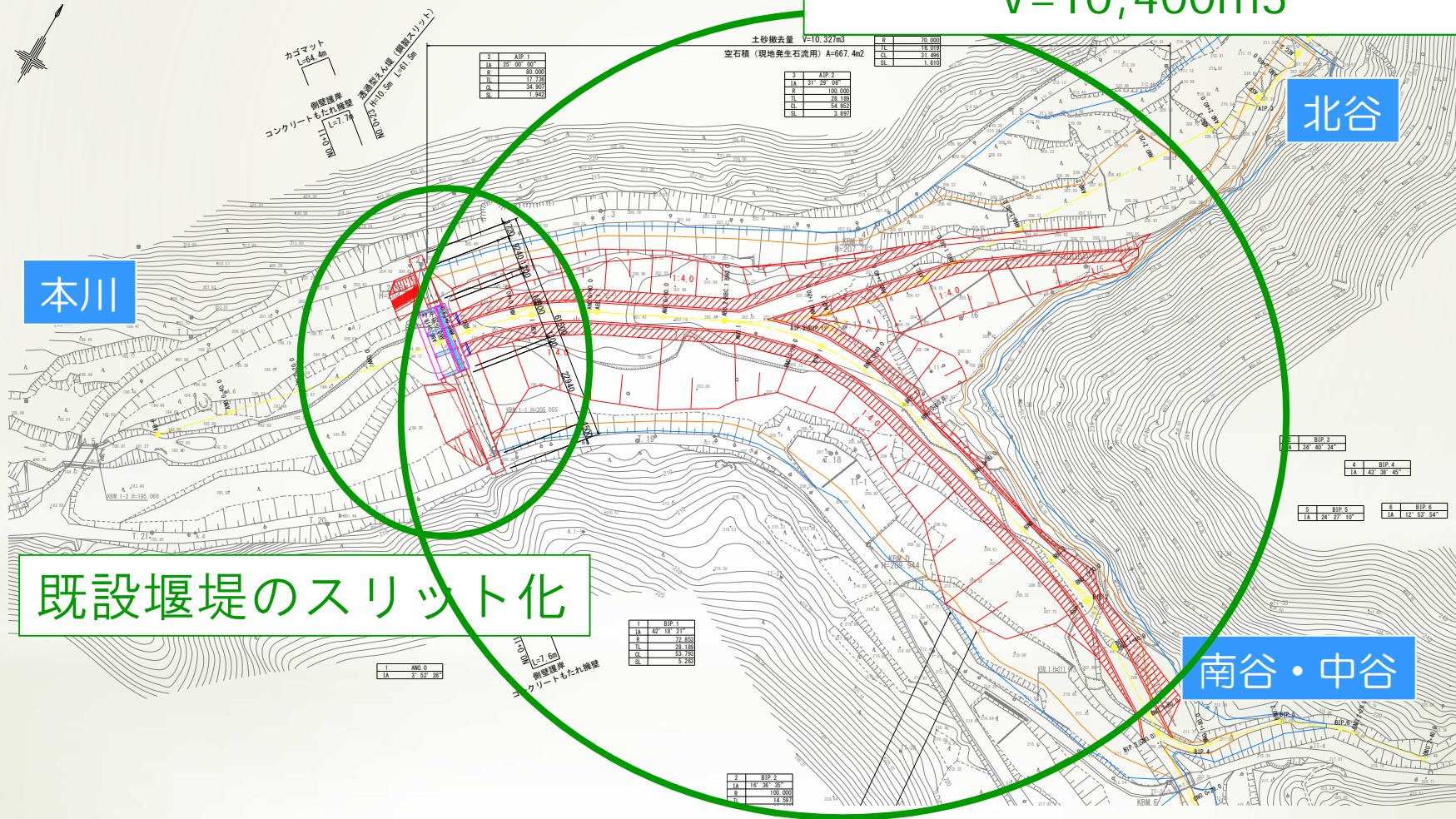
用地取得の滞り、溪流の景観保全および環境上の問題

⇒事業一旦中止に

2. 大谷川での取組みについて

堰堤上流の堆積土砂の除去
 $V=10,400\text{m}^3$

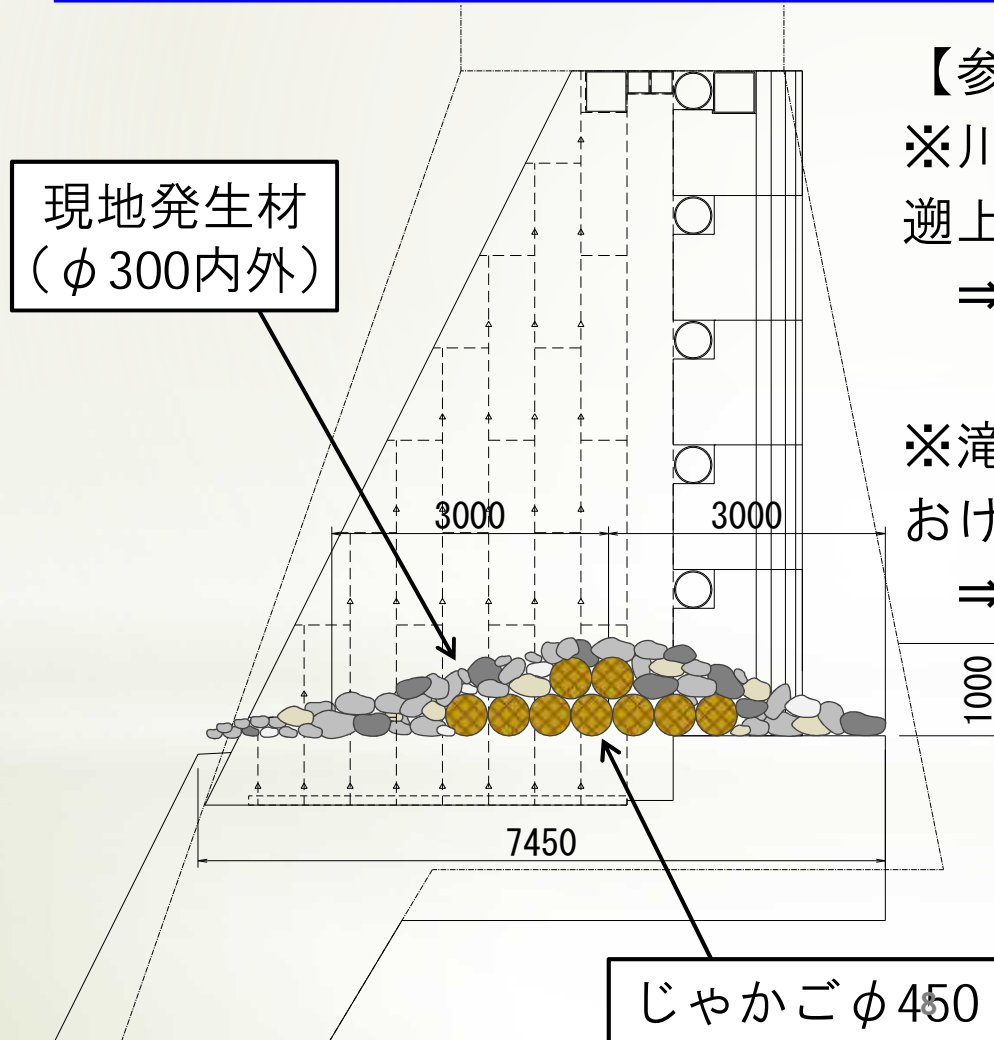
計画平面図



2. 大谷川の取組みについて

スリット化により水生生物の上下流への移動が可能に

⇒スリット敷の構造をオオサンショウウオが移動しやすいよう配慮



【参考】

※川上ダム（三重県伊賀市）における
遡上試験

⇒斜面構造、落差高を1m以内とした

※滝川（三重県名張市）砂防事業に
おける提言（山本忠雄氏・真継勝彦氏）

⇒勾配を1：3とした

オオサンショウウオ生息域
への過度な土砂供給の防止
+魚道としての役割

2. 大谷川での取組みについて

「大谷川砂防堰堤工事施工に伴う

オオサンショウウオ対応マニュアル」 （平成22年12月）

第1編「生態編」

オオサンショウウオに関する
基礎的な情報

- ・ オオサンショウウオの生態
- ・ 関連する法令
- ・ 過去の環境調査結果
- ・ 大谷川での生息状況

第2編「現場対応編」

施工業者が工事を行うにあ
たって実施すべき具体的内容

- ・ オオサンショウウオ保護時
の連絡体制
- ・ 社員教育
- ・ 必要な許可申請手続き等

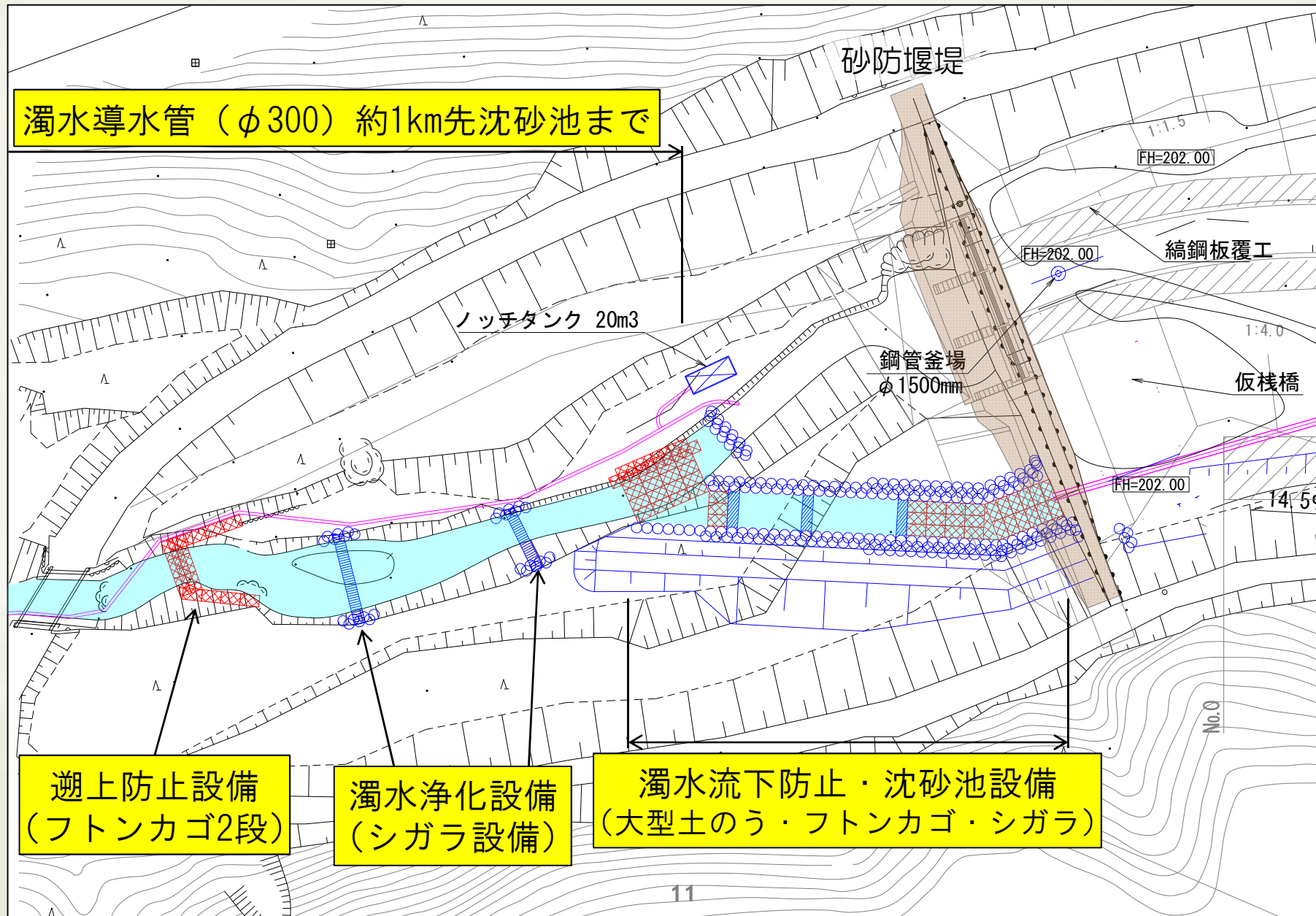
天然記念物現状変更許可申請
オオサンショウウオ調査票

2. 大谷川での取組みについて

○工事施工における配慮 ～仮設計画

- ①ヤード内のオオサンショウウオ探索（工事着手前）
→ヤード外へ放流
- ②オオサンショウウオの遡上防止設備（ヤード侵入防止）
毎朝作業前のヤード内探索
- ③濁水処理
 - ・ 既設堰堤に開けた穴から流水の一部を排水（転流工）
 - ・ 大型土のう、フトンカゴによる仮排水路
 - ・ 休耕田を利用した沈砂池

-濁水処理計画-



2. 大谷川での取組みについて

完成した砂防堰堤（下流側より）



沈砂池設備・濁水浄化設備



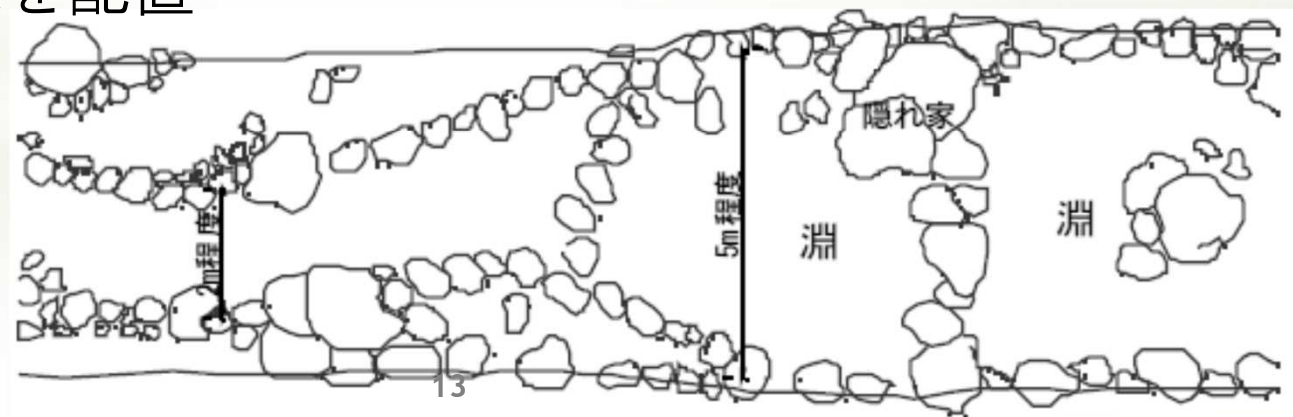
2. 大谷川での取組みについて

堰堤上流部の除石後の河川環境の復元

- ①巨礫が溪岸部に配置されたみお筋の形成
- ②平瀬部への巨礫積みによるR型淵の形成
- ③巨礫による落差・淵の形成

除石工事で発生した転石を再利用
人工的に巨礫を配置

除石エリアの
環境復元計画図



2. 大谷川での取組みについて

オサンショウウオが生息しているエリア



工事後の溪流



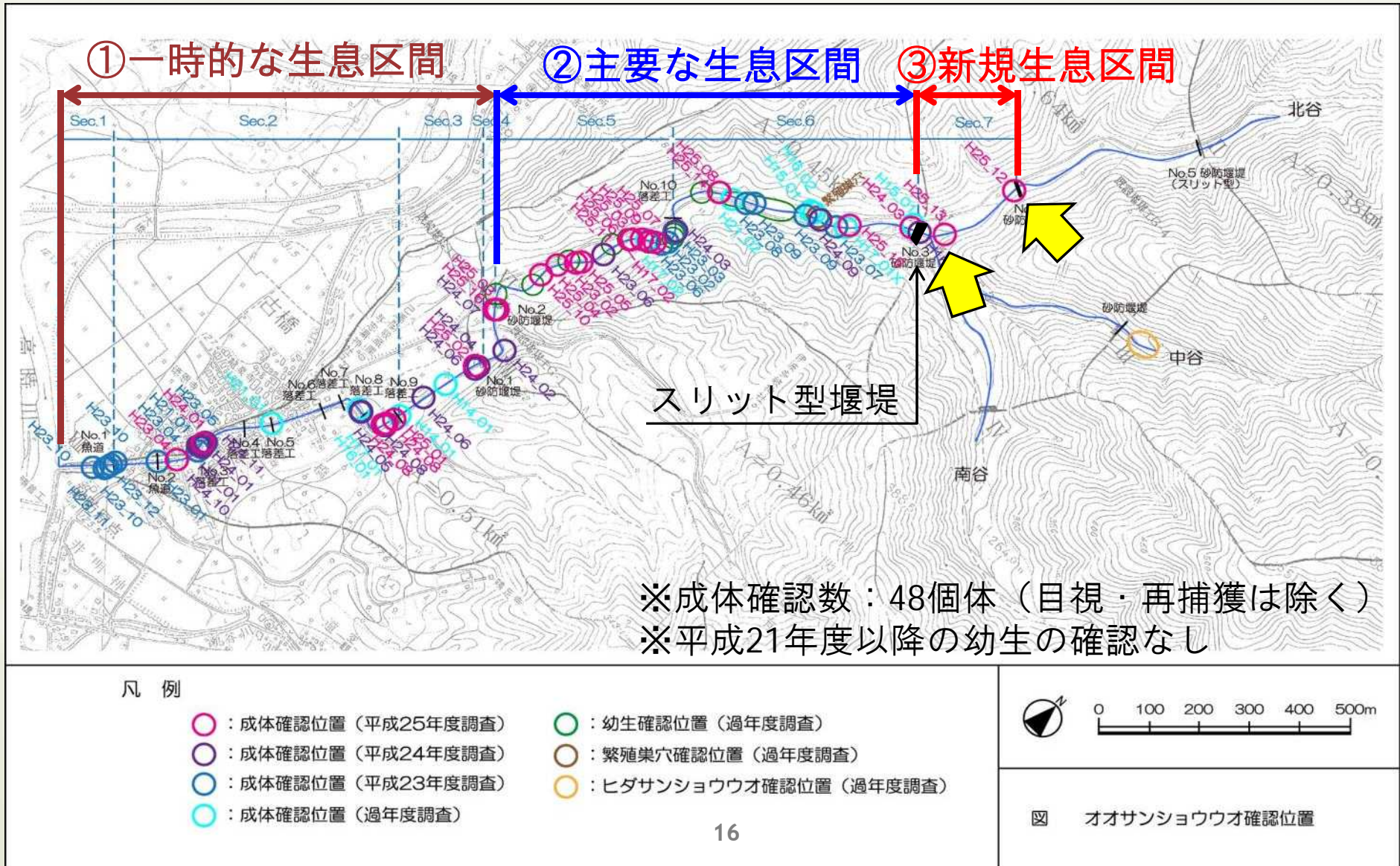
2. 大谷川での取組みについて（生物環境調査）

調査期間：平成14～17年度⇒大谷川における生息実態の把握
平成21～25年度⇒工事中・完了後の生息状況の把握と評価

- 調査内容：①成体モニタリング
②幼生調査
③生息環境調査（水質試験）
④工事区域内の関連確認作業 ※平成21年度以降
⑤その他希少生物の記録



2. 大谷川での取組みについて（生物環境調査）





砂防堰堤

平成25年8月26日
オオサンショウウオ確認

平成25年8月28日
オオサンショウウオ確認

大谷川

国道303号

高時川

高時川

体長	87 cm
体重	4900 g

3. 事業完了後の取組みについて

H26.6.10 第1回関係者会議



『古橋の オオサンショウウオを守る会』

- ・平成25年度～
- ・地元住民、生物環境アドバイザーが中心となって結成

○ 地元小学校での学習会

○ 関係者会議の開催

- ・ 県文化財保護課、環境保全課
- ・ 市文化財保護センター
- ・ 琵琶湖博物館
- ・ 長浜バイオ大学
- ・ 土木事務所 etc.



H26.9.27 オオサンショウウオ学習会

3. 事業完了後の取組みについて



ご静聴
ありがとうございました

